

当院でバンコマイシンを静脈内投与された患者様へ

作成日 平成 30年 1月 15日

研究「バンコマイシンの血中濃度測定を外部委託から院内測定へ変更したことに係る有用性評価」の実施について

1. 本研究の意義および目的

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (methicillin-resistant *Staphylococcus aureus*: MRSA) は、医療関連感染を引き起こす代表的な薬剤耐性菌である。バンコマイシン (vancomycin: VCM) は、MRSA に対する標準薬であり、有効性を確保し薬物有害反応を回避するためには治療薬物モニタリングの実施が推奨される。本研究は、バンコマイシンの血中濃度測定を外部委託から院内測定に変更したことに係る臨床的有用性を評価することを目的とした。

2. 研究の方法

介入を伴わない観察研究であり、診療録を後方視的に参照する。

3. 試料等の保存および使用方法について
該当なし。

4. 研究全体の期間と予定症例数

2015年2月から2017年1月に、当院でVCMを静脈内投与された患者。

5. 研究結果の公表について

学会発表、学術論文等で報告する予定である。

6. 個人情報に関して

本研究では、個人が特定される情報を含まないが、個人情報を取り扱う場合は、個人情報の保護に関する法律および徳島県個人情報保護条例を遵守する。

7. 本研究への参加を拒否する場合
該当なし。

8. 研究資金および利益相反管理について
開示すべき利益相反はない。

9. 研究機関、研究責任者および研究者

責任者: 徳島県立中央病院 薬剤局 薬剤局長 鎌田和代
研究者: 徳島県立中央病院 薬剤局 主任 中村哲也

10. 連絡先

〒770-8539 徳島市蔵本町1丁目 10-3

徳島県立中央病院 薬剤局

TEL:088-631-7151(代表) FAX:088-631-8354